



2026年3月13日

各位

会社名 N I T T O K U 株式会社
代表者 代表取締役 社長執行役員 笹澤 純人
(コード番号 6145 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 経営企画室長 飯野 将
(TEL 048-615-2109)

役員人事に関するお知らせ

当社は、2026年3月13日開催の取締役会において、2026年6月25日開催予定の第54期定時株主総会に提案する取締役の各候補者について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取締役体制 (2026年6月25日付 予定)

(新)	氏名 (株主総会決議の可否)	(現)
代表取締役 社長執行役員	笹澤 純人 (非改選)	代表取締役 社長執行役員
取締役 常務執行役員	鹿目 守夫 (非改選)	取締役 常務執行役員
取締役 常務執行役員	飯野 将 (新任)	
社外取締役	加藤 敏純 (重任)	社外取締役
社外取締役	本田 穰慈 (重任)	社外取締役
社外取締役	西江 佐千由 (非改選)	社外取締役

2. 退任予定取締役 (2026年6月25日付 予定)

氏名	(現)
藤田 由実子	取締役 常務執行役員

3. 監査役体制 (2026年6月25日付 予定)

(新)	氏名 (株主総会決議の可否)	(現)
常勤監査役	上竹 繁幸 (非改選)	常勤監査役
社外監査役	安原 宣彦 (非改選)	社外監査役
社外監査役	伊勢谷 早紀 (非改選)	社外監査役

(ご参考)

執行役員体制 (2026年4月1日予定)

地位	氏名	担当役職名
社長執行役員 CEO	笹澤 純人	営業本部長
常務執行役員	藤田 由実子	管理本部長
常務執行役員	鹿目 守夫	FA事業本部長 兼 コイル事業本部長
常務執行役員	飯野 将	管理副本部長
常務執行役員	角田 公 司	モーター事業本部長
常務執行役員 CFO	岡崎 正 明	経理部長 兼 IT戦略部長
上席執行役員	陳 永 建	
執行役員	袁 京 印	
執行役員	山田 勝 基	半導体事業部長
執行役員	手銭 靖 夫	FA事業副本部長
執行役員	村 枝 聡	コア技術応用事業本部長

※ 関係会社の役員等の兼務状況は割愛しております。

※ 常務執行役員 藤田由実子は2026年6月25日にて退任予定です。

役員の実験・マトリックス

地位及び氏名	企業経営	マーケティング 営業	開発 製造	グローバル ビジネス	財務 会計 税務	人事 労務 人材開発	法務 リスク マネジメント
代表取締役 社長執行役員 笹澤 純 人	●	●	●	●			
取締役 常務執行役員 鹿目 守 夫	●	●	●				
取締役 常務執行役員 飯野 将	●				●	●	●
社外取締役 加藤 敏 純	●	●		●	●		
社外取締役 本田 穰 慈	●		●	●			
社外取締役 西江 佐千由	●			●			●
常勤監査役 上竹 繁 幸	●	●		●			
社外監査役 安原 宣 彦					●		
社外監査役 伊勢谷 早 紀						●	●
常務執行役員 角田 公 司	●	●		●			
常務執行役員 岡崎 正 明				●	●		
上席執行役員 陳 永 建	●	●		●			
執行役員 袁 京 印	●	●		●			
執行役員 山田 勝 基	●	●	●				
執行役員 手銭 靖 夫	●		●	●			
執行役員 村枝 聡	●	●	●				

※ ●は取締役、監査役及び執行役員の選任に資するスキルを保有すると当社が判断したものでありますが、有する全ての知見を表すものではありません。

持続的成長に向けた経営・事業運営のために求める経験・知見

スキル項目	選択理由
企業経営	経営方針や経営戦略、ガバナンス、社会貢献等、健全な企業成長を主導するうえにおいて必要な広範且つ深い知見に基づく適宜的確な判断力、健全な資本形成を図る上での株主及び投資家との適切な対話等、経営基盤の充実、推進に不可欠な素養として選択。
マーケティング・営業	事業ポートフォリオ、外部環境変化を敏感に捉え、既存市場の深化、隣接市場の探索によるビジネス機会の創出及び他社との協業・協創によるオープンイノベーションの推進を担うに不可欠な素養として選択。
開発・製造	既存・周辺技術からなる要素技術とAI/IoT技術の融合による新たなソリューションの提供、ラインビルダーとして、構想、設計から調達、組立に至る各種工程でのノウハウの活用と効率化を通じた生産性の向上等、FA精密ラインに係る高性能且つ高品質な価値ある技術の開発及び提供を続けるに不可欠な素養として選択。
グローバルビジネス	グローバルでの企業活動を推進する上において、市場環境、商習慣、文化等の異なる価値観を理解、共有するとともに国際ビジネスに係る法規制の知識を有し、グローバルな視点での適格な判断と適切な行動のもと新たな価値の創造を図るに不可欠な素養として選択。
財務・会計・税務	全社的な見地から企業価値・経営課題を分析し、経営判断に資する論理性をもった意見具申や資金の調達、投資、配分に関する計画立案を担い、さらに株主及び投資家への適切な情報提供や対話等の充実を通して健全な資本形成を図る等、経営基盤の充実に不可欠な素養として選択。
人事・労務・人材開発	企業活動の源泉である人的資源に関し、経営戦略の遂行に資するプロフェッショナル且つ自律型人材の確保・育成を基本に制度・環境の構築を通して各人材・組織が最大の成果を発揮できる強固な基盤を確立するに不可欠な素養として選択。
法務・リスクマネジメント	ビジネス法務、コンプライアンス、紛争対応、危機管理を通して経営戦略の実現と信頼性の維持・向上を図り正当且つ健全な実効性ある企業経営の実現に不可欠な素養として選択。

以上